

令和3年度 評価者フォローアップ研修(専門コース)基本編  
**【 利用者調査の手法を学ぶ ～高齢分野～ 】**

(公財)東京都福祉保健財団 19階 多目的室1

## 《担当講師》

日本社会事業大学 社会福祉学部 福祉援助学科 教授：下垣 光氏  
 社会福祉法人正吉福祉会 きたざわ苑 施設長：齊藤 貴也氏  
 一般社団法人Riccolab. 代表理事：渡辺 真紀氏

## 《時間割》

時間	科目	講師等
10:00	5分 事前連絡	事務局
10:05	5分 ○開講挨拶	公益財団法人 東京都福祉保健財団 福祉情報部長 渡部 裕代
10:10 ～	50分 ○講義1 利用者調査の意義	公益財団法人 東京都福祉保健財団 福祉情報部 評価支援室 手法担当
11:00	10分 休憩	
11:10 ～	60分 ○講義2 高齢者福祉制度の変遷と現状	日本社会事業大学 社会福祉学部 福祉援助学科 教授 下垣 光氏
12:10	60分 休憩	
13:10 ～	60分 ○講義3 聞き取り方式の対象となる利用者を理解する	社会福祉法人正吉福祉会 きたざわ苑 施設長 齊藤 貴也氏
14:10	10分 休憩	
14:20 ～	15分 ○オリエンテーション	一般社団法人Riccolab. 代表理事 渡辺 真紀氏
14:35 ～	80分 ○演習1 利用者調査の技法を学ぶ	社会福祉法人正吉福祉会 きたざわ苑 施設長 齊藤 貴也氏
15:55	50分 ○演習2 利用者調査回答の振り分けを学ぶ	
16:45	10分 ○質疑応答	
16:55	5分 ○事務連絡	(事務局)
17:00	終了	

※ 1日目の演習1・2では、  
 特別養護老人ホームにおける聞き取り方式の利用者調査の  
 技法を学びます。  
 高齢の利用者の聞き取り場面として2通りのビデオを視聴  
 し、ワークを通して、評価者として望ましい利用者調査の  
 在り方や回答の振り分けについて学びます。  
 施設利用者の思いを深く理解している施設長と、経験豊か  
 な評価者である講師2名から、回答の振り分けについて解  
 説があります。

令和3年度 評価者フォローアップ研修(専門コース)基本編  
**【 利用者調査の手法を学ぶ ～高齢分野～ 】**

(公財)東京都福祉保健財団 19階 多目的室1

## 《担当講師》

特定非営利活動法人ミニケアホームきみさんち 理事長：林田 俊弘 氏  
 一般社団法人Riccolab. 代表理事：渡辺 真紀 氏

## 《時間割》

時 間	科 目	講 師 等
10:00	5分 事務連絡	(事務局)
10:05 ～	30分 ○講義4 場面観察方式の調査手法	公益財団法人 東京都福祉保健財団 福祉情報部 評価支援室 手法担当
10:35	10分 休 憩	
10:45 ～	60分 ○講義5 利用者特性に配慮した意向発信(サイン) の見出し方	特定非営利活動法人ミニケアホームきみさんち 理事長 林田 俊弘 氏
11:45 ～	40分 ○演習3 線引きワーク	特定非営利活動法人ミニケアホームきみさんち 理事長 林田 俊弘 氏
12:25	60分 休 憩	
13:25 ～	45分 ○演習4 個人調査シート作成ワーク	一般社団法人Riccolab. 代表理事 渡辺 真紀 氏
14:10	10分 休 憩	
14:20 ～	75分 ○演習5 合議結果作成ワーク	
15:35	15分 休 憩	
15:50 ～	40分 ○発表・講評	
16:30	10分 ○質疑応答	
16:40 ～ 16:45	5分 ○事務連絡 終了	(事務局)

※ 2日目の演習3・4・5では、  
**認知症対応型グループホームにおける場面観察方式の調査方式を学びます。**  
 ビデオ視聴により、グループホームの日常生活の中で発せられた利用者のサイン(呼びかけ、声なき呼びかけ、まなざし等)に対する職員の関わりを観察し、グループワークを通じて場面観察方式の記載方法を学びます。  
 利用者のサインはどこにあったのか、グループホーム利用者の特性に詳しい施設長が解説し、講評やグループワークで作成した「評価機関が選定した場面」と「評価機関が読み取った利用者の気持ちの変化」の記載について評価者が解説します。